

新病院に関するご意見・ご質問（R6.11.17 高度医療・人材育成拠点に関する県民公開セミナー）への主な回答

No.	質問	回答
1	新病院が新医療機器の開発や医工連携など、医学と工学の交わる場として担う役割や構想があれば教えてください。	○新病院や地域の医療機関等の保健・医療・介護情報を収集し、症例データベースを構築したうえでAIの開発や創薬、ヘルスケア産業向けのデータ活用を可能とする仕組み（データ活用プラットフォーム）を整備することで、収集された医療・ヘルスケアデータを、創薬や医療機器開発に活用することが期待されます。
2	県病院や中電病院がなくなることによって 外来診療はますます 日赤病院などに集中し、待ち時間が長くなると思いますが どのように想定していますか。 ベッド 数も 市内で 約240 床減るわけですが、一方医療が 比較的 必要な 高齢者数は 増えます。 そうなると 患者の 早期退院が余儀なくされるようになると思いますが、どうでしょうか。	○新病院では、患者呼び出しシステム（待合表示板、スマホ連動等）、AI問診、オンライン資格確認対応の再来受付機、自動精算機等の仕組みの導入など、診察や検査、会計の待ち時間の短縮などの利便性向上を図ることを検討しています。 ○「地域完結型医療」の一翼を担う新病院は、政策医療、高度医療、人材の育成・循環機能を担うことを想定しており、新病院に急性期を集約する一方で、周辺の病院には急性期から回復期の医療や介護医療院等へ転換していただくことで患者の状態に応じた適切な病床を確保したいと考えています。
3	新病院について病理診断科は設けられるのかが知りたいです。	○新病院の診療科目は、広島大学をはじめ地域の医療機関との役割分担及び連携体制を踏まえ、現在、再編対象病院（県立広島病院、JR広島病院、中電病院）が標榜する診療科を維持しつつ、新病院が備えるべき専門性に合わせた41の科目を基本に検討していきます。 ○この41科目の具体的な診療科名は、県の高度医療・人材育成拠点基本計画（R5.9策定）12ページをご覧ください。
4	広告料にいくらかけていますか。	○令和6年度当初予算としてセミナー運営委託費4,000千円を計上しており、当該運営委託費内に広告費が含まれております。
5	この病院は新規で誰でも 初診を受けて頂けるのですか？。どこかの病院から紹介された重病人や特殊な病気でしか受付ないのかなのですか？。	○新規の患者様を全く診療しないということはありませんが、新病院は高度急性期・急性期を担う基幹病院として、患者様の日常的な診療を行っている「かかりつけ医」の先生方と積極的な紹介・逆紹介を進め、地域の医療機関との機能分担・連携を推進することで、わざわざ遠方の医療機関を受診しなくても、必要な医療が地域内で受けられる地域完結型医療の実現を目指しています。
6	大学病院との役割に違いや、協力体制を知りたいです。	○広島大学病院は特定機能病院として、高度医療（高度救命救急、先進医療、難治性希少疾患の治療等）の提供するとともに、県内唯一の医育機関として、医師を養成する機能を担うものと考えています。 ○また、広島大学からは「広島県医療の抱える課題を踏まえ、持続可能な医療提供体制を確保するため、高度医療・人材育成拠点構想の実現に向けて協力していく」との意向が示されているところであり、新病院の整備に向けて引き続き緊密に連携してまいります。
7	勤務医さんや看護師さんの働きやすい職場にするための取組はどんな事を想定されていますか？	○ライフスタイルにあわせた多様な働き方が可能となる勤務時間や勤務形態の設定など、職員のワークライフバランスに配慮した働きやすい環境の整備を図ります。 ○また、タスクシフト・タスクシェアの推進、弾力的な人員の配置、医療DXの推進による業務の効率化など、職員が専門性を一層発揮できる生産性の高い職場づくりを推進します。
8	1. 現在の県病院跡地に南区民の命と健康を守る病院はつくられるのでしょうか。 2. 国家公務員共済組合病院の吉島病院と記念病院は具体的にはどうなるのでしょうか。縮小ですか。統廃合ですか。 3. 中山間地域の深刻な医師不足もこの計画で改善されるということですが、具体的にはどのようにされるのでしょうか。	1. （回答No.26をご参照ください。） 2. 両病院を開設する国家公務員共済組合連合会の病院運営に係る事項ですので、国家公務員共済組合連合会において判断されるものと理解しています。 3. 県では、大学や広島県地域医療支援センターと連携し、中山間地域の医療機関に対する「医療人材の派遣・循環の仕組み」を構築することとしています。 新病院は広島大学等との連携により、豊富な症例の集積や多くの指導医の配置など、医療人材の育成機能の充実による魅力的な研修体制を整備し、若手医師をはじめとする多くの医療人材を確保・育成することで、「医療人材の派遣・循環の仕組み」に寄与することを目指しています。
9	周辺、医療機関との連携に於いて、メリット、デメリットについては、どのようなことが考えられるか？	○急性期治療後の回復期リハビリテーション医療などを担う機能や、在宅・介護施設等において症状が急性増悪した患者に対応する機能の需要が広島都市圏において高まることが見込まれています。このような医療需要の変化に適切に対応できるよう、各医療機関の機能分化・連携のあり方について、引き続き各関係者と検討を進めていきます。
10	救急搬送の第1選択は新病院なのか。重症度に応じて周辺病院と連携するのか。その役割分担はどうするのか。	○新病院は三次救急の基幹病院として救命救急に対応するとともに、広島都市圏の二次輪番病院をバックアップし、他の医療機関が対応できない患者の受入れを行うことで、地域として「断らない救急」の実現したいと考えています。
11	高度医療の観点で前倒して開設できませんか？	○新病院の開院前から、高度医療の提供に必要な体制を整備し、地域の医療機関との役割分担を進める必要があり、2030年度の開院を目指して準備に取り組んでまいります。
12	新病院の完成後の全体像が見えないので、詳しく教えて欲しいです。	○新病院構想につきましては、以下のホームページをご参照ください。 https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/koudoiryou-jinzai/ 今後も本構想に関して県民の皆様が理解が深まるよう、広報活動を推進してまいります。
13	新病院構想について知りたいです	○新病院構想につきましては、以下のホームページをご参照ください。 https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/koudoiryou-jinzai/ 今後も本構想に関して県民の皆様が理解が深まるよう、広報活動を推進してまいります。
14	新病院構想の全体計画に沿った最新の予算計画の検討状況や、昨今の恒常的な建設費の上昇に伴う予算計画の見直しなどの予定が有りましたら教えてください。	○新病院構想の検討状況につきましては、状況に応じて県ホームページなどでお知らせいたします。
16	専門研修について具体的にどのようなものを予定しているのか。導入予定の最新技術、最先端医療について。	○新病院の専門研修については、多彩な症例を扱い、医師に対する指導体制の充実も図る中で、質の高い専攻医を養成する環境を整えるため、現在、県立広島病院が基幹施設となっている内科、救急科、総合診療科の専門研修プログラムに加え、その他のプログラムについても基幹施設としての整備を検討してまいります。 ○新病院の高度・先進医療については、身体に負担の少ない低侵襲治療（放射線治療、内視鏡外科手術、ロボット手術）をはじめ、各診療領域で日々進歩する医療技術に対応し、最先端の医療サービスが提供できるよう取り組んでまいります。
17	対応されている各分野の方々、又、一般でも非常に危機感のあることを次のセミナーも是非参加したいと考えました。本日山間部地域からの参加者がどのくらいあったのでしょうか。	○今回のセミナーでは、中山間地域を含め県内外からのご参加がありました。

18	建物は、JR病院の建物を一部再利用すべきではないか。	○JR広島病院とも連携を図りながら、地域の皆様がかかりやすい新病院となるよう、計画を進めて参ります。
19	事業費について。	○新病院整備の概算事業費は約1300億円から1400億円を予定しております。
20	新病院についての認知度が低い感じがします。システムが分かりにくい。	○（回答No.12をご参照ください。）
21	広島県民一人ひとりの期待に応える新病院開設をお願いします。2030年などのプロセスを定期的に進捗説明をお願いします。既存病院と新病院の連携を充分期待します。	○（回答No.12をご参照ください。）
22	現在、新病院に統合される病院へ通院していますが、新病院で継続して診ていただけるのかそれとも条件があるのか気になります。	○広島都市圏における医療需要や、各医療機関が地域で担っている役割を踏まえ、新病院の整備を契機とする医療提供体制のあり方について引き続き検討を進めてまいります。このため、新病院に急性期医療を集約し、救急医療において他の医療機関での対応が難しい患者を受け入れる「断らない救急」の実現や、複合的な疾患を抱える患者に最適な治療を行うため、かかりつけ医を含む各地域の医療機関と緊密に連携を図ります。今後も、新病院の整備と並行して、新病院を含む基幹病院や地域の医療機関との適切な役割分担の下、患者の状態に応じた切れ目のない医療を提供できる体制の構築に取り組んでまいります。
23	本当に実現できるのか？と思う気持ちが増えています。大丈夫ですか？	○新病院は、小児・周産期、救急医療、災害時医療に加え、難易度の高い症例が集積された高度急性期・急性期機能を担うハイボリュームセンターとして、県民の皆様へ全国トップレベルの高水準かつ、安全な医療を提供します。また、広島県の医療を支える医療人材の確保・育成や、中山間地域をはじめとする県内全域の地域医療を維持するための体制を構築します。新病院の整備を契機として、将来にわたって、県民の皆様がどこに住んでいても、必要な医療を安心して受けることができる体制の構築に向けて、全力で取り組んでまいります。
24	サイバーテロ、大地震等の災害時におけるコンピューターのバックアップについて。上記非常事態時に入用機関を一極集中させることの弊害について。	○サイバーテロ等の事態に備えて、ネットワークから切り離れたオフラインバックアップをする仕組みを検討しているところです。
25	周辺の道路環境は大丈夫ですか？。県病院、JR病院、中電病院をかかりつけ医にしている患者はどこに行けば良いのでしょうか？	○新病院の開院に向けて、周辺道路・交差点への影響を検証するため、昨年度に引き続き、令和6年7月に2回目の交通量調査を実施したところ、一部の交差点で渋滞回避のため信号時間の調整が必要となるものの、いずれの交差点においても問題ない状況であるとの調査結果が得られました。今後も適時調査し交通実態を把握するとともに、関係機関とも連携を図り、周辺交通への影響を最小限に抑えるよう努めます。○地域のかかりつけ医を含め、個々の医療機関がそれぞれの得意分野を活かして医療機関同士の連携により患者を地域全体で治し、支える「地域完結型医療」を実現することで、医療資源の全体最適が図られ、患者の状態に応じた切れ目のない医療・介護体制が構築できると考えています。こうした機能分化・連携体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議などを通じて地域の合意形成を図っていきます。
26	県病院跡地にも普通の病院やケガで入院出来る命を守る病院は必要。	○県立広島病院の移転後の跡地につきましては、地域住民の皆様や地区医師会、有識者、行政で構成する地域懇話会での御意見や住民アンケートの結果を踏まえ、地域の医療機関との連携や高齢者等のアクセスを考慮した上で、必要な医療サービスを受けられる体制を整えることなどについて、跡地活用策の方向性として令和5年9月にお示ししたところであり、現在その具体化について検討中です。
27	県病院にも多くの人達がかかっています。新病院の後の具体的医療体制が聞きたかった。	○（回答No.26をご参照ください。）
28	広島県の地域医療の現状は良く分かったが、全体的に未来に期待が持てる内容ではなかった。日本全体で人口が減少し、経済的にも向上が期待できない中で、医師の輩出数が増加もしくは維持される事は極めて現実的ではなく、そういった社会状況において「ふるさと枠」の議論は短期的かつ局所的な視点であり、中長期的未来に効果が期待できるとは考え難い。地域医療及び人材育成視点から、在宅医療をどうするのか、医療DXをどうするのか、県全体の各市町村の地域医療体制をどうするのか、といった視野の広い議論を聞いてみたい。	○今後のセミナー運営の参考とさせていただきます。
29	HMネットについて、新病院に絡めてもっと有効活用して欲しい。	○新病院構想の検討の参考とさせていただきます。
30	広島県の中山間地域や島しょ部では、医師不足が指摘されており、こうした地域の医療をより良くするために、新病院はどのような役割を果たせますか。	○新病院には中山間地域の医療機関との連携・支援体制のネットワーク構築、若手医師が新病院で勤務したいと思うような魅力ある環境や施設を整備し、医師不足の解消が期待されています。
31	県北から広島駅まで車で行くのは、時間がかかります。夕方は、広島駅北口周辺や54号線が渋滞します。間所から広島駅北口まで広島高速が新しく通ったとしても、県北の人間からすれば、広島駅までの交通アクセスは不便なままだと思われます。県北で勤務している医師が新病院で週1回の研修をしたり、新病院の常勤医師が県北の医療機関に診療支援を行ったりする際にも、交通アクセスの整備は重要と考えます。新病院の開業に合わせて、新たに広島高速やバイパス道路の建設は考えておられるのでしょうか？	○新病院の開院に向けて、周辺道路・交差点への影響を検証するため、昨年度に引き続き、令和6年7月に2回目の交通量調査を実施したところ、一部の交差点で渋滞回避のため信号時間の調整が必要となるものの、いずれの交差点においても問題ない状況であるとの調査結果が得られました。○今後も適時調査して交通実態を把握し、来院者の車両利用数（1日400台見込み）や周辺道路環境を考慮して、適切な交通動線を計画するとともに、関係機関とも連携を図り、周辺交通への影響を最小限に抑えるよう努めます。

（その他ご意見抜粋）

- ・広島県のこれからの高度医療の内容について学びたいと思います。生涯学習テーマのひとつです。県民誰でも等しく恩恵を受けられる事を願っています。
- ・今後の広島駅北口の医療発展をお祈り致します。
- ・新しい病院がどういう形になっていくのかが興味があります。
- ・高齢者も安心して生活できるのか、これからの地域医療について知りたい
- ・人材提供体制構築を確実に進めて欲しい。
- ・新病院について講演をされた方々の発言などそれぞれ違うものだなと感じたので最終的にはどのような役割を果たしていく病院になるのかが気になりました。
- ・難しいお産はどこで受け入れ可能となるのでしょうか。
- ・広島県の地域医療に貢献できるように、医学部合格を目指して頑張りたいと思います。貴重なお話をありがとうございました。
- ・現役医学生の思い描く現場のやりがい、内面のうかがえる双方向のディスカッション。
- ・異なった立場の先生方が同じセミナーに登壇されて、大変面白かったです。
- ・中山間地域に必要とされている人材や人材不足のための取り組み、その課題が明確に理解できた。有意義のある時間だった。
- ・ハコより中身（研修システム、でサイン、理念と志が重要）。
- ・地域医療の現状を知り、新病院への期待を持つことができました。
- ・必ずいつかお世話になる所です。先生方が増えますように。
- ・是非、総合診療を充実して欲しい。
- ・総合医についての話が興味深かったので、今後どうなっていくのか変化があればまた聞いてみたいです。
- ・今、夫ががん治療しています、進んだ治療がだれでも受けられる環境を望みます。治療に関して聞きたい。
- ・医師となった後も、忘れることのないセミナーになると思います。
- ・とても良いセミナーでした。
- ・目（眼科）と糖尿病（内科）の関係など関連医療について知りたい。